

## **令和 8 年度新居浜市地方創生有識者会議発言要旨**

日時：令和 8 年 9 月 24 日（木）14 時 30 分～16 時 00 分

場所：新居浜市消防防災合同庁舎 5 階 会議室 1

### **（座長）**

次第に従い、報告 1「令和 7 年度人口動態の状況について」、事務局より報告を求める。

### **（事務局）**

令和 7 年度の人口動態の状況について、資料に基づき報告。出生数 664 人、死亡数 1,779 人による自然減、転出超過による社会減の状況等を報告し、人口減少への対応が地方創生を進めるうえで重要な課題であることを説明。

### **（座長）**

続いて、議事 1「令和 7 年度アクションプランの実施状況及び第 2 期総合戦略の総括について」、事務局の説明を求める。

### **（事務局）**

第 2 期総合戦略について、雇用の拡大、魅力の創出、出生数の増加、健康寿命の延伸を重点課題として取り組んできたこと、基本目標ごとの令和 7 年度及び計画期間全体の成果及び課題について説明。

### **（委員）**

若者の市外流出を防ぐためには、子供たち自身が新居浜で育ちたい、住み続けたいと思える

環境が重要であり、部活動の地域移行やスポーツ環境の整備といったところも重要である。

また、太鼓祭りについては、小学生は子供太鼓台等で地域文化に触れる機会はあるが、中高

生年代になると、少し距離ができるように感じるため、中高生年代が太鼓台に関われる仕組

みづくりを進めてほしい。また、太鼓祭りを集客の目玉として捉えることに違和感を覚える。

**(事務局)**

太鼓祭りについては、安全性の観点から中高生年代が関わることができず、大人になった時

に関心が薄れているというのは認識しており、今後の課題として取り組んでいく。また、太

鼓祭りについては、多くの観光客が本市へ訪れる一大イベントであり、今後も指標のひとつ

として活用する必要があると考えている。

**(座長)**

太鼓祭りは、新居浜市の大きな魅力であり、郷土愛の醸成に繋がる一方で、安全安心に参加

できる環境づくりについては、今後も工夫をしながら取り組んでいただきたい。

**(委員)**

市内製造品出荷額等については、目標を大きく達成しているが、事務局からの説明のとおり、

円安や物価高騰の影響もあるため、実態を把握できるような指標設定の検討が必要である。

また、ものづくり産業を支える人材確保に向け、若い世代へ現場で働くことの重要性を伝え

る取り組みが必要である。

**(事務局)**

本市の取組として、小学生のものづくり体験や職場体験等を実施しており、そういった取り組みを通じて、地域産業の魅力や社会を支える仕事の重要性を若い世代に伝えていきたい。

**（座長）**

高校卒業後の市内製造業への就職について、近年人口減少と反比例して、高校生の大学進学率が上昇しており、今後ますます高校卒業後の就職者の確保が困難になっていくことが予想されるが、市としてどのような取組、施策を展開していくのかお示しいただきたい。

**（事務局）**

県立高校については、職場体験を実施しているほか、本市として、お仕事フェスタ（高校生向け合同企業説明会）を開催しており、これらの取り組みを通して、企業魅力を高校生に伝えていきたい。

**（委員）**

若年女性の流出や出生数減少への対応として、進学後に新居浜へ戻ってくるための就職情報や支援策が重要である。また、文化芸術に触れる機会の充実、住みたいまちづくりにつながるため、子どもたちだけでなく大人も文化に親しむ環境づくりを進めてほしい。

**（事務局）**

進学等により新居浜市を離れた学生等への情報発信や支援策については、学生版全国にはま倶楽部を通して、ふるさと新居浜便の発送や毎年開催している交流会等で繋がりを持ち続ける他、アンケート等を通して、環境の整備や情報収集・発信に取り組んでいる。

また、スポーツ及び文化活動については、活動場所の確保が重要である中、現在市民文化センターの今後の在り方に対する検討を行っており、よりよい施設になるよう検討を進めていく。

**(委員)**

観光面について、太鼓祭りに加えて、新居浜市民以外の視点から魅力を発掘し、情報発信していくことが重要である。また、子どもが屋内で遊べる施設やスポーツを通じた交流機会の充実を図ることが、新居浜市の魅力向上に繋がると考える。

**(事務局)**

子どもが屋内で遊べる施設については、あかがねキッズパークの利用や現在、市役所本庁舎周辺にこども子育て複合施設の建設を予定しており、市民の皆様のお声から大型の木製遊具の設置を予定している。また、プロスポーツとの連携や PR を実施しているが、本市にはプロスポーツに対応できる体育館が市民体育館しかなく、他の体育館についても空調等の整備を順次進めていく必要があると考えている。

**(座長)**

続いて、議事 2「第 3 期新居浜市デジタル田園都市構想総合戦略の策定について」、事務局の説明を求める。

**(事務局)**

第 3 期総合戦略について、第 6 次長期総合計画との一体的な推進、国及び県の動向を踏ま

えた必要な見直し等について説明。

意見なし

**（委員）**

続いて、議事 3「令和 7 年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について」、事務局の説明を求める。

**（事務局）**

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について、令和 7 年度に実施した事業について、資料に基づき説明。

**（委員）**

7 事業を実施しているが、今後の交付対象となりうる事業を可能な範囲でお示しいただきたい。

**（事務局）**

令和 8 年度については、引き続き子育て支援という観点から給食費の助成を実施する予定である。また、今年度は体育施設の LED 化にも活用を予定している。

**（委員）**

あかがねポイント事業について、昨年度の本会議の中で、市民の皆様全員に行き渡るというのは難しいのではないか、という意見があったと記憶しているが、今年度の評価についてご説明いただきたい。

**(事務局)**

ご指摘のとおり、会員数という点では増加傾向にあるが、会員数は市全体の 3 分の 1 ということで、市民全員に行き届いているかということそうではない。そのような中、令和 7 年度～令和 8 年度については、1 人当たり 5 千円の商品券を全市民にお配りをさせていただいた。

**(委員)**

子どもが利用できる施設等への支援や利用促進につながる取り組みなど、単なる負担軽減だけではなく、認知度向上や地域活性化につながる利用方法の検討も必要である。

**(事務局)**

来年度に向けて検討させていただく。

**(座長)**

続いて、議事 4「新居浜市過疎地域持続的発展計画について」、事務局の説明を求める。

**(事務局)**

新居浜市過疎地域持続的発展計画について、資料に基づき説明。

**(委員)**

別子地域への移住希望者に対するアプローチ方法や、別子地域に中学校があることによる移住・定住面での効果について伺いたい。

**(事務局)**

移住希望者に対するアプローチとして、年に数回、関東・関西圏で開催される移住フェアに参加させていただいているのに加え、情報発信の部分では、各種 SNS や移住定住ポータルサイトを活用している。また、別子中学の学生は住民基本台帳に係る人口には含まれていないが、在学学生はもちろんのこと卒業生も別子への想いは大変強いものがあり、卒業後も別子地域と関りを持ち続ける生徒もいる。

**(座長)**

以上で議事を終了する。

**(事務局)**

委員からいただいた意見について整理し、今後の総合戦略に掲げる数値目標や KPI 達成に向けて各事業の運営方針に反映させていきたい。

以上をもって、本日の会議を終了する。